

2022年大発会

1月4日、2022年のスタートを切る大発会を行いました。

福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、市場関係者約30名の皆様にご出席をいただきました。長理事長が年頭の挨拶を行い、引き続き理事長の音頭により、証券市場が益々活況を呈しますよう祈念して、吉例の「博多手一本」を入れました。



理事長挨拶
(2022年大発表会)

皆様、新年明けましておめでとうございます。
2022年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

大納会でも申し上げましたように、昨年は、一年の3分の1が緊急事態宣言下という我慢の一年であった一方で、年を通して株価は概ね堅調に推移し、年後半には経済も厳しいながら持ち直しがみえてまいりました。

本年は、干支(かんし、えと)でいえば、「壬寅」(みずのえとら)にあたります。

壬(みずのえ)は、女へんを加えると、妊婦さん、妊娠の妊になることでわかるように植物の成長でいえば、種の内部に種子が生まれた状態、を指すことだそうです。

また、寅(とら)の方は、植物でいうと、季節は春、ちょうど植物が生え始めることを指すそうですが、相場格言では「寅千里を走り」とさらに盛んなイメージがございます。

いずれにいたしましても、「壬寅」(みずのえとら)には、厳しい冬を越えて芽が吹き始めるという意味合いがあると思われれます。

ここ一、二年間は、コロナ禍からの実態経済の回復よりも、株式相場の回復が先に進んでいるという声もございますが、今年は、経済も株式市場も共にしっかりと上向きになるという一年を期待したいところです。

福岡に目を向けますと、昨年は天神ビジネスセンターがオープンするなど、いよいよ天神ビックバンが本格化してまいりました。

博多駅前においても、博多コネクティッドが進行しています。

今年から来年にかけては、旧大名小学校跡地活用事業の完成や七隈線の博多駅までの延伸が予定されているなど、福岡は急速に新しい風景を実現しようとしています。

併せて、産学官あげでの国際金融機能誘致 Team Fukuoka の取組みも、昨年、新たに福岡への進出企業が発表されるなど、着実に動きをすすめています。

私ども福証におきまして、こうした新しい動きに合わせまして、また、新しい動きに貢献していけるように、気持ちを新たに取り組んでまいりたいと考えております。

また、引き続き新規上場の推進や福証上場企業に対する支援などを通じて福岡、九州及び周辺地域の企業の成長に貢献していくとともに、皆様から信頼のおかれる市場取引の運営を目指してまいりたいと考えております。

役職員一同、皆様方との連携・協力を一層強固なものにしながら、「地域になくてはならない取引所」として、微力ながら九州を中心とした地域経済発展に力を尽くしていければと考えております。

どうか今年も福証の取組みに対し、熱いご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。